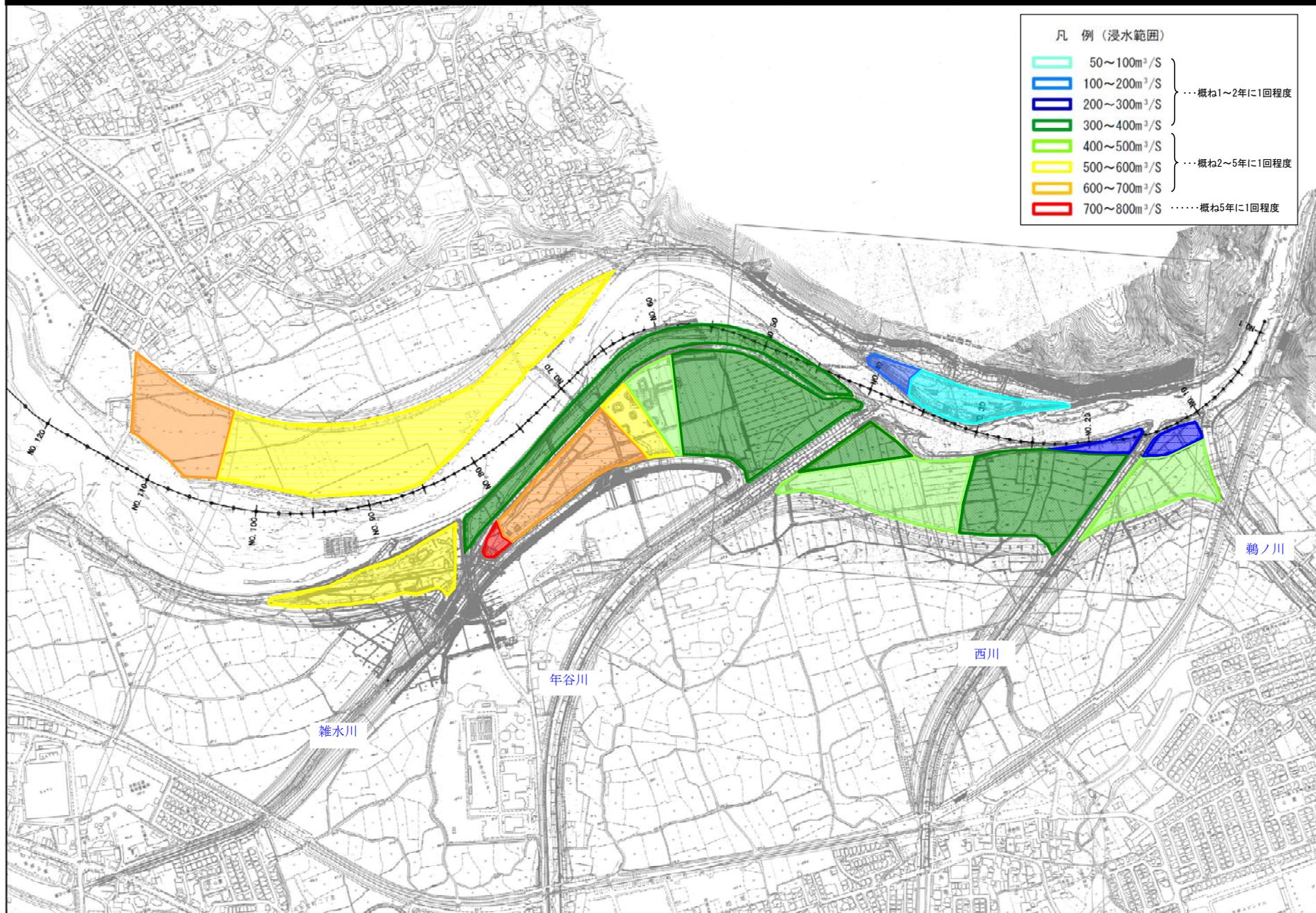
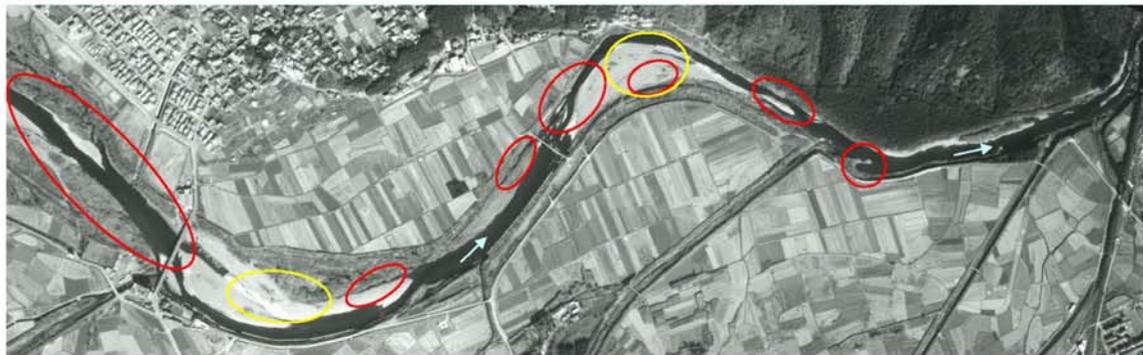


6.洪水時の水位状況図



■航空写真

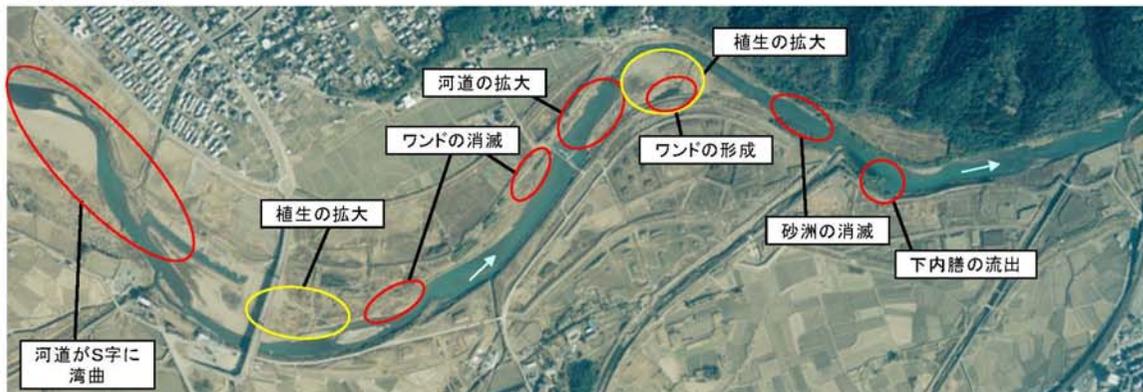
(昭和60年12月撮影)



(平成7年11月撮影)



(平成18年1月撮影)



S60

H7

H18

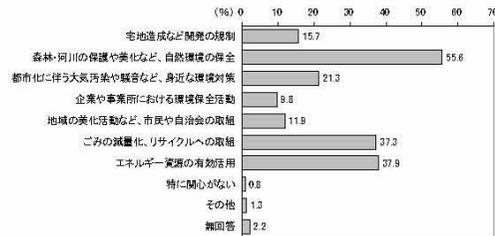
亀岡市まちづくりアンケート結果

- 調査期間 平成21年6月1日～6月30日
- 調査対象 亀岡市に住む18歳以上の市民(無作為抽出)
- 調査実施方法 郵送による配布・回収
- 調査数 2,995人、有効回収数1,097人、有効回収率36.6%

○主なアンケート結果

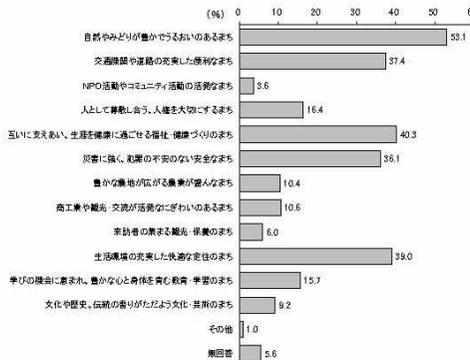
●環境問題に対して大切な取組

「森林・河川の保護や美化など、自然環境の保全」55.6%が最も高く、次いで「エネルギー資源の有効活用」37.9%、「ごみの減量化、リサイクルへの取組」37.3%などの順となっております。森林、河川などの自然環境に対する意識が高いことがわかります。

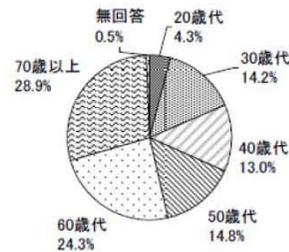


●亀岡市の将来像について

「自然やみどりが豊かでうるおいのあるまち」53.1%が最も高く、次いで「互いに支えあい、生涯を健康に過ごせる福祉・健康づくりのまち」40.3%、「生活環境の充実した快適な定住のまち」39.0%、「交通機関や道路の充実した便利なまち」37.4%、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」36.1%などの順となっています。



アンケート回答者の年齢構成



＜市民会議が提言する亀岡市の10の将来都市像＞

- その1 セーフコミュニティの町ー亀岡
- その2 えがおふれる美しいまちかめおか
- その3 あいらぶ・亀岡
- その4 水も緑もぬくもりも、調和の郷
- その5 活気に満ちた田園都市・亀岡
- その6 自然と歴史に包まれた共生のまち
- その7 豊かな自然 文化 暮らしがいきづつまち
- その8 先賢を慈しみ、恵まれた自然と共生できるセーフコミュニティのまち 亀岡
- その9 懐かしい日本の原風景・安らぎのさと 亀岡
- その10福祉が充実し、笑顔あふれるまち 亀岡

各分科会の提言

(関連部分抜粋)

【福祉・文化】分科会

◎市民が亀岡の自然・歴史・文化を誇れるまち

- 亀岡駅周辺への文化資料館の整備及び充実
- 亀岡駅周辺へのギャラリー等身近なサロンづくり
- 市民協働による多彩な文化活動の展開(保津川の環境保全を目指した取り組み等)

【生活・環境】分科会

◎人々の活力と緑にあふれたセーフコミュニティのまち 亀岡

- 保津川河川敷を活用した地域住民が親しめる公園等の基本整備
- 保津川の水質保全や河川への廃棄物の削減

【産業・建設】分科会

◎でかけたくなる、にぎわいのある美しいまち 亀岡

- 亀岡駅北側の整備

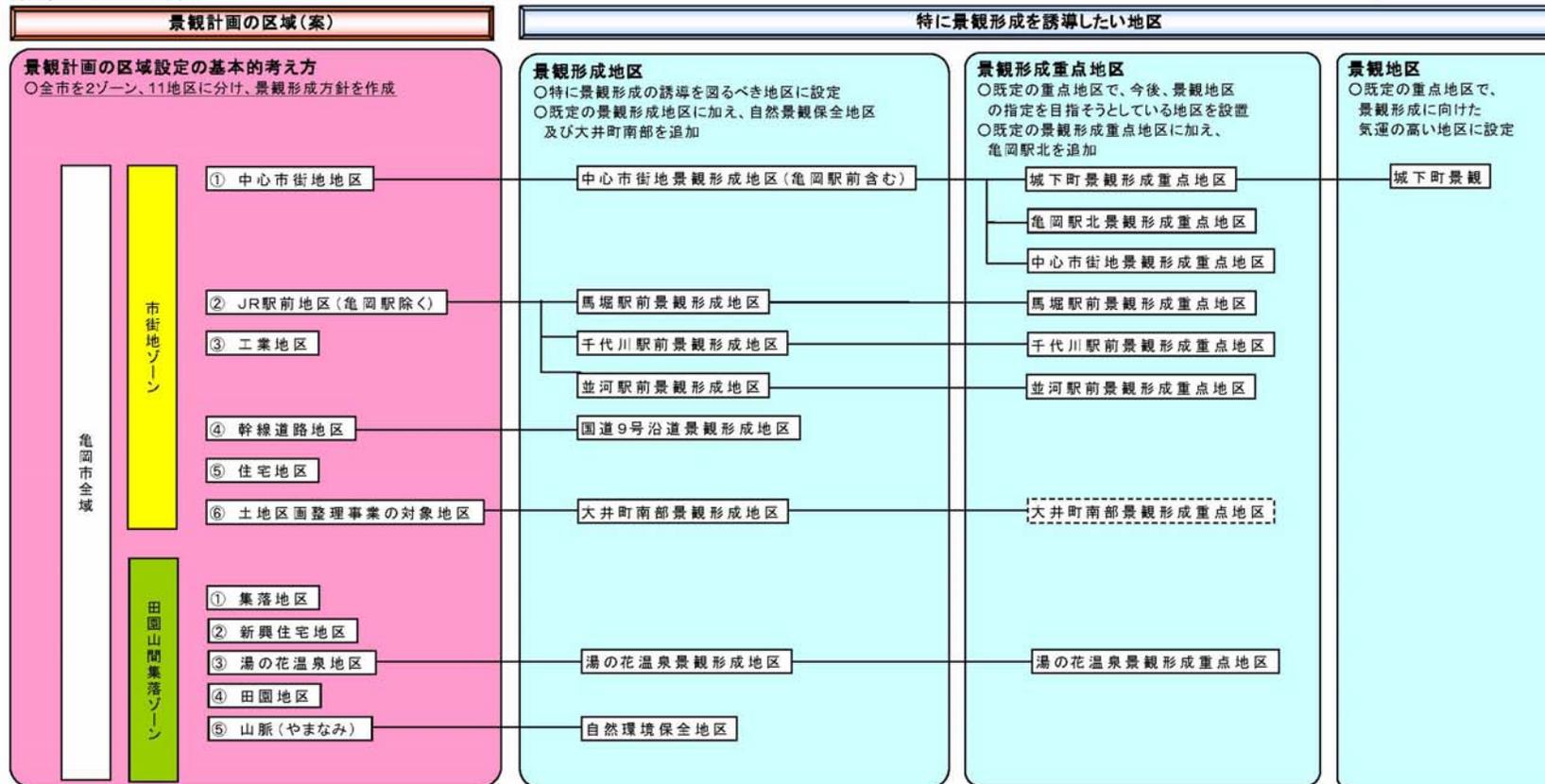
◎たくさんの人が何度も訪れる観光のまち 亀岡

- 保津川下り～トロッコ駅間の軽量電気自動車の運行
- 人力車、馬車などの導入
- 亀岡の名を知らしめるシンボリックなイベントの企画や開催

■ 亀岡市景観制度策定委員会の開催経緯

第1回委員会(H21.7/10)	○亀岡市の景観の現状
第2回委員会(H21.8/18)	○景観の現状と課題 ○地域での取り組み
第3回委員会(H21.10/19)	○景観計画の枠組み ○旧市街地エリアの景観ルール ○亀岡駅北地区について
第4回委員会(H21.11/26)	○旧城下町エリアにおける景観ルール(案) ○新市街地エリアにおける景観ルールの考え方
第5回委員会(H22.2/3)	○景観計画区域の設定、エリア別景観形成基準 ○屋外広告物に関する景観形成基準

■ 景観計画の区域(案)



※亀岡駅北地区では、牛松山の頂上方向への眺望に配慮した景観形成のルールを検討中
※保津川に直接関連するものはないが、「かわまちづくり」にあたっては、河川を持つ自然景観を損なわない配慮が必要。また川から見た景観、特に水際見え方に留意する必要があると思われる。

亀岡駅(展望デッキ)から北側の眺望

